

直属教会長各位

次世代育成会議

次世代育成の取り組みについて

道の次代を担う信仰者の育成は、いつの時代も心にかけてなければならない重要な課題です。

そこで教祖 140 年祭後の新たな歩み出しをした今、これからの 10 年をひと節と捉え、あらためて各直属教会において次世代育成委員会を設置し、じっくりと腰を据えてこの課題に取り組み、自ら求めて教祖のひながたを辿る次代の道の担い手を育てることを目指します。

つきましては、下記項目を参照して、各直属教会で次世代育成委員会を設置し、取り組みにあたってください。なお、詳細については、別紙の通り説明会を開催します。

◆ 次世代育成委員会の設置について

- ・ 直属教会において、布教部、婦人会、青年会、少年会、学生担当委員会の担当者を中心に次世代育成委員会のメンバーを構成し、常時の育成体制を作る。なお、現在同じような会議体がある直属教会は、それをこの委員会としてもよい。ただし、布教部及び各会の担当者を加えることが望ましい。
- ・ 委員会は、道の次代を担う 20 代から 40 代のようぼく・信者を対象者として、その育成について考える。
- ・ そのために、まず対象者の現状や育成状況を分析して課題を洗い出す。そして、その課題を基に、直属教会におけるこれからの常時の取り組みについて検討する。
- ・ 直属教会として各会の活動にも積極的に後押しを図る。
- ・ 教会長夫妻や親に対し、道の次代を担う信仰者育成の取り組みを促す。